



# こどもクリニックニュース

NO. 114 平成21年6月1日発行

## 休診の予定

8月19日(水)～26日(水)  
9月12日(土)

お盆期間の8月13日(木)～15日(土)は、通常どおりに診療する予定です。

**水曜日は「一日休診」です！**

平成21年4月1日より、毎週水曜日は午前中の診療も中止して丸一日を休診といたしました。その代わりに、4月以降は一部の祝日の午前中に診療いたします。

## 祝日の診療予定表

7月	20日	(月)	海の日
9月	23日	(水)	秋分の日
10月	12日	(月)	体育の日
11月	3日	(火)	文化の日
	23日	(月)	勤労感謝の日
12月	23日	(水)	天皇誕生日

年内の祝日の診療は今のところ上記のように計画しています。これはあくまで現時点での予定です。11月以降の日程につきましては、この地域の医療事情や冬季の休日診療とのかね合い等で変更することがあるかもしれません。

## ともながこどもクリニック・診療カレンダー

上記の休診・祝日診療の予定(10月分まで)をカレンダーにしました。日曜日に診療している医療機関の情報なども記載しています。当院の受付窓口においてありますのでご自由にお持ち帰りください。11月以降のカレンダーは、冬期の小児科休日診療の当番が決まり次第、10月下旬までには作成する予定です。

## 院長の予定(2009年7月まで)

6月	17日	(水)	1才半健診	保健センター
7月	6日	(月)	予防接種会議	保健センター
	8日	(水)	二種混合	水深小
	23日	(木)	ポリオ	保健センター
	29日	(水)	9ヶ月健診	保健センター

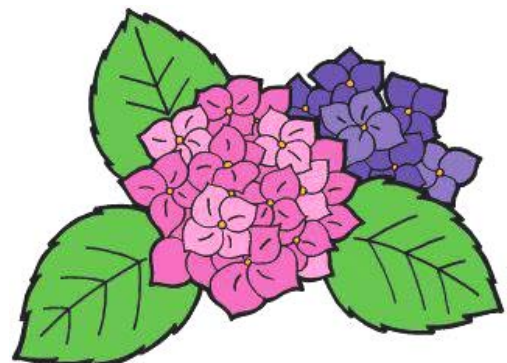
これらの日は午前の受付を12:00前に締め切ることがあります。また午後の診療開始時間が多少遅れることがあります。水曜日は休診ですので診療には影響ありません。

## 感染症の情報

全国的な新型インフルエンザの騒ぎはそろそろ一段落しそうな気配がしますが、この地域ではまだB型インフルエンザが局地的に流行しています。ただしこれも特別不思議な出来事ではなく、過去にも見られたことであり、遠からず終息することでしょう。

その他、流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)と水痘が増減を繰り返しつつも、いまだ落ち着く気配が見られません。これらの病気は比較的症状は軽いのですが、周囲の子供への感染予防のために1週間～10日間程度の登校・登園禁止となります。ワクチンを接種しておけば、かからないか又は軽く済ませることが出来ますので是非ご検討ください。

それ以外では感染性胃腸炎、溶連菌感染症も目立ちます。



## 新型インフルエンザ・これから

新型の「豚インフルエンザ」は、世界中でも日本国内でもまだ新たな患者さんが見つかっています。決して流行が終わったわけではありませんが、その正体が不明だった当初に比べれば、随分と落ち着きを取り戻してきたと感じます。

何とんでも、最初に心配されていたほど感染力や毒性（死亡率）が高くないことが一番の救いでした。その分、強毒性の「鳥インフルエンザ」を想定して作られたわが国の新型インフルエンザ対策との矛盾点・問題点が浮き彫りになったことは皮肉です。でも「今回はラッキーだった」だけで、今後も新型インフルエンザに対する警戒を緩めてはいけません。「豚」が変身する恐れも残っていますし、「鳥」が出てくる可能性もあります。今回体験した一連の出来事を教訓としましょう。

- ① 水際作戦ではインフルエンザの国内侵入を阻止できません。世界のどこかで流行が始まったら、外国との交通を完全にシャットアウトしない限り、遅かれ早かれ日本にもウィルスが入ってきます。
- ② 毒性の強いインフルエンザウィルスが国内で流行したら、兵庫や大阪と同様に学校や幼稚園、保育園は強制的に閉鎖されます。運動会やコンサートなどの集会も禁止されるでしょうし、場合によっては公共交通機関が停止するかもしれません。
- ③ 高校生だけでなく、多くの一般労働者が病気になったら、トラック輸送などの物資の流通も滞るでしょう。その結果、日常生活に支障が出ます。とりわけ食糧不足に陥ると深刻ですので、2週間分くらいの食料の備蓄が勧められています。
- ④ 流行地域の病院にはインフルエンザの患者さんがあふれます。重症の患者さんは入院が必要ですが、ベッドの不足も心配されます。病院の待合室でインフルエンザをうつされる可能性が高いので、軽い風邪くらいでは病院にはかからないほうが安全でしょう。慢性疾患を持っている人は、病院に行かないで薬を処方してもらう方法をかかりつけの先生と相談してみてもいいかもしれません。
- ⑤ このような事を頭の片隅に入れたうえで、今後も**正確な情報**を集めて、冷静に行動をしましょう。そして**一般的なインフルエンザ対策**、たとえばマスクや手洗い、咳エチケットを心がけてください。

## 新・日本脳炎ワクチンが発売されますが・・・

最新情報では、6月2日に新しい日本脳炎ワクチンが発売されるとのことです。実質中止になって、すでに3年以上が過ぎてしまっています。何百万人の子供たちが再開を待っているのでしょうか。でももう少し・・・などと思っていたら、実はまだ大量生産されていないということです。どうやら、中断する前並みの生産量は確保されているようですが、なにしろ3年間のブランクで「待たされた方」がたくさんいるので、すぐには皆に行き渡らないようです。もちろん製薬会社も増産はするでしょうから、あと1年くらい待つつもりでいれば大丈夫かな、と勝手に考えています。公費接種の対象から外れてしまう方に対しては、おそらく何らかの救済策がとられるはずですが、そうでなければ不公平ですものね。

日本脳炎は九州・沖縄や中国・四国などの西日本に圧倒的に多い病気です。関東地方に住んでいる方は、ワクチン接種が仮にあと1年くらい遅れても実害はないと考えます。今は、少ないワクチンを西日本に重点的に供給したほうが効果的だと考えますがいかがでしょうか。いずれにしろ、いましばらくは各市町村からの連絡・広報を待ちましょう。

## 熱中症にご用心！！

もうすぐ梅雨。そして次は夏です。次第に気温が上がっていくこの時期は「熱中症」にかかって高熱を出すお子様が増えてきます。気温が高い日や蒸し暑い日は赤ちゃんの体温が上がりやすいので、室温・服装に注意してください。



また「あせも」で来院される方が増えています。これもある程度「予防」できるトラブルです。

ポイントは「涼しく・清潔に！！！」

子どもクリニックニュースの無料郵送サービスをしています！

郵送をご希望の方は、受付にてお申し込み下さい

携帯用ホームページ

